

# 地元要望に沿い病床を

## 日本共産党 尾上議員が質問

住吉市民病院跡地

大阪市議会民生保健委員会



尾上やすお市議

吉村洋文大阪市長は、

府市共同住吉母子医療センター(住吉区)の開設な

どでハイリスク症例への対応や小児・周産期医療の充実を図っているなどと答弁。尾上氏は、「住

吉市民病院が担ってきたのは身近な医療だ」と強調。廃止後に暫定的に開設されている住之江診療

所にも病床がないことを示し、新病院は「地元の医師会や住民の要望に沿ったものにすべき」と求めました。

また住之江診療所や住吉母子医療センターへのアクセス改善へ具体的な取り組みを急ぐよう求めました。

してきました。ところが1月末に公表された基本構想案では、小児科も産科も外来のみ。地元医師会や住民からは、病床を求める運動が広がっています。

大阪市議会民生保健委員会が15日開かれ、日本共産党の尾上やすお議員が、住吉市民病院(大阪住之江区)の跡地に整備される新病院の基本構想案について質問しました。

新病院をめぐって大阪市は、市議会や医療審議会には「産科10床・小児科10床」を設けると説明

した。点化が推進されており、病床を持つと医療資源の分散化が避けられない」との答弁に終始しました。